

## 令和6年台風10号による被害状況等について（第2報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

### 1 気象状況 気象庁発表（8/27 13:00 時点）

- 非常に強い台風第10号は奄美地方付近にあって、今後さらに発達して29日にかけてゆっくりとした速度で九州南部・奄美地方を北上し、九州に上陸する可能性もある。台風は、30日以降は次第に進路を北東に変えて西日本を進み、東日本に接近する。また、日本海から北日本には前線が停滞している。
- 台風本体や台風周辺の雨雲の影響で、西日本から東日本にかけての太平洋側を中心に、台風接近前から雷を伴った大雨となり、台風の動きが遅いため総雨量が多くなる。特に、奄美地方では27日夜から28日午後にかけて線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性がある。また、前線の影響で、北日本を中心に29日にかけて雷を伴った大雨となる。今後、前線は南下し、台風周辺の暖かく湿った空気の影響で、前線の活動が活発となるおそれがある。
- 九州南部・奄美地方では猛烈な風が吹いて猛烈なしけの状態が29日にかけて続き、西日本では30日にかけて暴風・大しけとなる所がある。29日以降は東日本でも、暴風や大しけとなるおそれがある。また、奄美地方では27日から29日にかけて、西日本や東日本では29日以降は高潮や高潮と重なりあった波浪による浸水害が発生するおそれがある。
- 九州南部・奄美地方では、一部の住家が倒壊するおそれもある猛烈な風が吹くところがあるため、暴風や高波に厳重に警戒。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫にも厳重に警戒。高潮に注意・警戒。

### 2 体制等

- 警戒体制：本省、気象庁、国総研
- 注意体制：国土地理院、北海道開発局、北海道運輸、中部地整、中部運輸、九州地整、九州運輸

### 3 国土交通省関連情報

#### (1) ダム（8/27 13:00 時点）

- ・ 洪水調節（事前放流を含む）を実施 117 ダム  
117 ダムうち、事前放流の基準に達したダム 113 ダム
- ・ 事前放流を実施 38 ダム（うち利水ダム 24 ダム）
- ・ すでに事前放流の容量を確保 75 ダム（うち利水ダム 53 ダム）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

## (2) 砂防

### ■土砂災害警戒情報（8月27日 14:30 現在）

1 県 2 市に発表（静岡県）

※1 県 2 市で継続中（静岡県）

### ■土砂災害（8/27 15:00 時点）

発生情報無し

## (3) 道路（8/27 14:00 時点）

### ■高速道路

[被災による通行止め：なし]

[雨量基準超過等による通行止め：1 路線 2 区間]

・E38 道東道 夕張 IC～占冠 IC【2 区間】：雨量基準超過

### ■有料道路

[被災による通行止め：なし]

[雨量基準超過等による通行止め：なし]

### ■直轄国道

[被災による通行止め：なし]

[雨量基準超過等による通行止め：なし]

### ■補助国道

[被災による通行止め：なし]

### ■都道府県道等

[被災による通行止め：1 県 1 区間]

・鹿児島県 1 区間

## (4) 鉄道（8/27 14:00 時点）

○施設被害：なし

○運行状況

【現在、運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせることを発表している路線】：JR 九州 九州新幹線

## (5) 航空（8/27 11:00 時点）

<被害情報>

運航の支障となる空港施設等の被害情報なし

<運航への影響>

8月27日 欠航47便（JAL39便、その他8便）

※奄美地方発着便を中心に欠航

8月28日 欠航予定83便（JAL83便）

※九州南部・奄美地方発着便を中心に欠航

(6) **物流・自動車** (8/27 13:30 時点)

○高速バスの運休状況：3事業者6路線で運休

3事業者4路線で計画運休

○宅配便の状況：5事業者で一部地域の集配遅延の可能性等

(7) **海事** (8/27 11:00 時点)

○定期旅客船の運航状況：21事業者21航路運休または一部運休中

(8) **公園・都市** (8/27 15:00 時点)

・国営木曾三川公園

8/27～ 終日臨時閉園 (13カ所の公園のうち、6カ所を閉園)

※台風が通過し、安全が確認できるまで閉園の予定

(9) **その他**・・・(河川、海岸、水道、下水、住宅、港湾、観光) 関係の状況

・被害情報なし

4 **国土交通省の対応状況**

(1) **国土交通省災害対策連絡調整会議** (8/26)

(2) **記者会見等**

○合同記者会見(気象庁、水管理国土保全局 8/26 13:30、福岡管区気象台、九州地方整備局、九州運輸局 8/27 14:00)

○合同説明会 (高松地方気象台、四国地方整備局、四国運輸局 8/26 10:30)

(3) **ホットライン構築状況**

7市1町0村0区と構築済み

(静岡県2市、愛知県2市、徳島県1市1町、愛媛県2市)

(4) **TEC-FORCE等【本日6人派遣】(のべ23人・日)**

○リエゾン：4名派遣 (宮崎県庁2名、鹿児島県庁2名)

○JETT：2名派遣 (宮崎県庁2名)

○被災状況調査班等：現時点派遣なし

(5) **防災ヘリコプターによる被災状況調査**

○現時点調査予定なし

(6) **car-SATによる被災状況調査**

○現時点調査予定なし

(7) **災害対策用機械の出動【本日1台派遣】(のべ1台・日)**

○排水ポンプパッケージ

1台を徳島県(待機中1台)に派遣

## 5 気象庁の対応 (8/27 14:00 時点)

- 気象庁記者会見 (8/26 13:30)
- 各地の気象台は、JETT (気象庁防災対応支援チーム) の派遣 (のべ 19 人・日 TEC-FORCE の内数) やホットライン、記者会見等により警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

## 6 海上保安庁の対応

- 当庁の対応等

### (1) 警戒配備

- ・ 第十管区海上保安本部

8 月 26 日午後 5 時 00 分 警戒配備発令

27 日午前 7 時 00 分 非常配備発令

### (参考)

※非常配備・警戒配備：海上災害の発生に備え、巡視船艇・航空機を即応体制としている状況

- 被害情報等

被害情報等認めず

- 航行警報等の発出状況

海の安全情報 2 件 (注意喚起)

### (参考)

※海の安全情報：広く海域利用者に対し、気象・海象の現況、気象警報・注意報の発表、大雪や発達した低気圧に伴う事故防止の注意喚起等の情報を提供 (テレホンサービス、インターネット、メール)

- 港湾における避難勧告等の発出状況

- ・ 第一体制 (警戒勧告) 46 港

- ・ 第二体制 (避難勧告) 3 港

- ・ 臨海部の施設周辺海域での錨泊制限の状況

志布志国家石油備蓄基地

以上

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 箭内
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461